



【ことにとんでんへいおく】

琴似屯田兵屋

屯田兵屋の原形を残す

この建物は、明治7(1874)年に建てられた琴似屯田兵村(屯田兵第1大隊第1中隊)の兵屋(兵屋番号140番、佐藤喜一郎所有)で、現在まで原形を残している数少ない遺構である。

昭和38(1963)年、佐藤喜一郎の孫である豊隆から神社へ寄贈され、同39(1964)年1月、現在地に移転し、煙出しや便所などを復元したものである。

8帖、4.5帖の組合せで、6帖、4.5帖の後年の兵村兵屋と異なっている。また土間は4.5坪(約14.85㎡)で狭く、流しが板の間となっている点も異なっている。

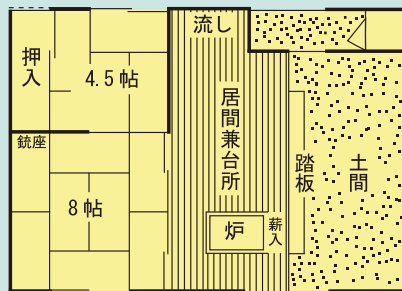
忠実に復原

壁体は、土壁の真壁に下見板張りとし、かつ壁は中塗り仕上げで、後年の兵屋のように板壁ではない。小屋組は、洋小屋のキングポスト・トラスであるが、細部は和風手法を加味した独特のものである。

新設の煙出し、便所および台所流しなどは、創建時の形態が不詳であるため、後代の形態を採用し、また、屋根を亜鉛鉄板葺に改めるなどの変更を加えた。

この建物は、開拓使当初の屯田兵屋を原形にできるだけ忠実に復元したものであり、内部に陳列した生活用具、給与品等も貴重な歴史資料である。

黄色…指定部分



概要

- 木造平屋建 桎葺の上亜鉛鉄板葺
- 真壁外側 押縁下見板張り
- 真壁内側 土壁あらわし
- 小屋組 洋小屋(キングポスト・トラス)
- 建築面積 56.7 ㎡

● 建築年代: 明治 7(1874) 年

● 指定年月日: 昭和 39(1964) 年 10 月 3 日

● 所在地: 札幌市西区琴似1条7丁目 琴似神社境内

● お問い合わせ: 琴似神社 ☎ 621-5544

● 観覧形態: 外部観覧のみ ※現在内部見学不可

● 観覧時間: 9時00分～16時00分

● 休館日: 冬期間(11月～5月初) 閉鎖

● 観覧料: 無料

● アクセス: 地下鉄東西線「琴似」1番出口より約390m
JRバス・中央バス「西区役所前」